



コラム:オープンアクセスに関する諸話題

数年前、恒常的な価格上昇に円安が加わり、いくつかの大学ではこれまで契約見直し対象にされにくかった大手出版社の電子ジャーナルパッケージ維持を断念しました。さいわい本学では出版社との交渉と、費用負担への関係各位のご理解によりパッケージを維持できています。しかし値上りが続く限り、為替変動等の予測不可能な要因によりパッケージ維持が困難な状況に転じる可能性があります。

そこで出版社との交渉と並行して、不要な電子ジャーナルの購読中止や、値上げを続ける商業出版社への依存を少なくするための継続的な努力が必要です。商業出版社への依存を少なくするための1つの方策として論文のオープンアクセス(以下 OA)があげられています。以下では OA にまつわる話題をいくつか紹介します。

(1) OA とは

論文をウェブサイトで誰でも無料でアクセスできるようにすることです。その方法としては大きく分けて①機関リポジトリによるセルフアーカイビング (グリーン OA)、②学術誌へオープンアクセス論文として投稿する (ゴールドオープン OA)、の2通りあります。

①については本学では TOUR (<http://ir.library.tohoku.ac.jp/re/>) を用意しております。②には従来の学術誌へ OA 論文として投稿、OA 学術誌に投稿が選択でき、それぞれ投稿料または論文処理費用 (APC) が必要なもの、不要なものがあります。なお日本学術振興会のウェブサイトでは OA 化を推奨しています。

(https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/08_openaccess/index.html)

The screenshot shows the TOUR homepage with the following elements:

- Header:** TOUR Tohoku University Repository logo and navigation links (English, 日本語).
- Search:** A search bar with a '検索' button.
- Left Sidebar:** Navigation menu including 'ホーム', 'コミュニティ/コレクション', '発行日', '査読', 'タイトル', '主題', 'アクセス上位文献', 'ダウンロード上位文献', 'ヘルプ', and 'DSpaceについて'.
- Main Content:**
 - TOURとは:** Introduction to TOUR as a repository for academic research and education.
 - ご利用にあたって:** Guidelines for using the repository, including copyright and usage restrictions.
 - お知らせ:** A notice dated 2014/9/18 regarding the registration process and the creation of a manual.
 - 記事等一覧:** A list of articles, including a list of journals.
- Right Sidebar:**
 - Googleカスタム検索 and サイト内検索 buttons.
 - TOUR関連情報:** Links for '著作を登録するには', 'FAQ (よくある質問)', '運用指針', and 'リーフレット (PDF)'.
 - 関連リンク:** Links to '東北大学', '附属図書館', '研究者紹介', '教育情報基盤センター', 'リポジトリ一覧', '[国内] NII', '[海外] OpenDOAR', 'リポジトリ検索サイト', 'JAIRO', 'CIINI', 'QAIster', and '著作権ポリシーDB'.
 - Bottom right: 'TOUR トップページ' link highlighted in a red box, and contact information for the Tohoku University Library.

(2) 投稿料または論文処理費用 (APC: Article Processing Charge)

ゴールド OA では投稿料または論文処理費用として料金が徴収される場合があります。また従来の学術誌でも投稿時に OA を選択できるものがあり、それらは純粋な OA 誌に対してハイブリッド OA 誌と呼ばれています。なお、ハイブリッド OA 誌は購読料との 2 重取りではないかという指摘が常にあるため、OA 論文部分相当額を値引くことで批判の矛先をかわそうと努めている出版社もあります。ちなみに本学の APC を含めた論文投稿料は年間およそ 1 億円と概算され、現在の仕組みの下 OA が推進されていけば今後 APC の負担が増えていくことが見込まれます。

(3) ハゲタカ出版 (Predatory publishers, Predatory journals)

OA 学術誌を標榜しているものの、ずさんな査読で単に APC を得ることを目的とした出版社や雑誌を意味します。掲載実績の欲しい研究者の弱みにつけこんだ商法と考えられており、投稿先を選択する際には十分な注意が必要です。

(4) Sci-Hub (サイハブ)

2011 年にカザフスタンの大学院生により創設された、学術論文の PDF ファイルを無料で入手できるウェブサイトです。2016 年時点で 50 万件もの論文へ誰でもアクセスができるという点では OA と言えなくもありませんが、出版社等の許可なく掲載しているので、いわゆる海賊版という扱いです。件の学生は出版社から法的に訴えられているそうですが、このウェブサイトは世界中の人々から利用されており、先進国からもアクセスされ、一定の支持を得ているようです。

John Bohannon “Who's downloading pirated papers? Everyone” Science. 29 APR 2016 : 508-512

(<http://www.sciencemag.org/news/2016/04/whos-downloading-pirated-papers-everyone>)